

警報器未設置の住宅で火災が多く ～平成23年の火災・救急・救助概況～

火 災

区 分	平成23年	平成22年	増減
火災件数合計 (件)	108	110	▲2
建物火災 (件)	62	66	▲4
うち住宅火災 (件)	45	38	7
林野火災 (件)	11	5	6
車両火災 (件)	13	11	2
船舶火災 (件)	0	0	0
その他の火災 (件)	22	28	▲6
死者 (人)	5	9	▲4
うち住宅火災 (人)	3	7	▲4
負傷者 (人)	13	12	1

▲は減少

平成23年中に市内で発生した火災は108件で、そのうち住宅火災は45件でした。また、火災による死者は5人で、うち住宅火災による死者は3人でした。



本市における住宅用火災警報器の設置率は、平成23年6月時点での推計結果で77.1%でしたが、火災が発生した住宅では未設置のところが多くみられました。また住宅火災の原因は、「放火・放火の疑い」、「こんろ」が多く、特に「こんろ」はそのほとんどが、天ぷら油を使用中にその場を離れたことで出火しています。

救 急

平成23年中の市内における救急出動件数は1万3,066件で、前年に比べ842件の増加となり、過去最高の出動件数となりました。前年と比較し、急病、一般負傷の増加がみられました。

事故種別でみると、例年同様、急病が7,983件で最も多く、次いで一般負傷の2,092件、交通事故の1,344件の順でした。

タクシー代わりに救急車を呼んだとみられるケースもあったため、救急車の適正利用にご協力をお願いします。



区 分	平成23年	平成22年	増減	
出動件数 (件)	13,066	12,224	842	
搬送件数 (件)	11,999	11,312	687	
搬送人員 (人)	12,200	11,530	670	
主な事故種別	急病 (件)	7,983	7,409	574
	一般負傷 (件)	2,092	1,847	245
	交通事故 (件)	1,344	1,470	▲126

▲は減少

救 助

区 分	平成23年	平成22年	増減	
出動件数 (件)	116	118	▲2	
活動件数 (件)	71	56	15	
救助人員 (人)	74	53	21	
主な事故種別	交通事故 (件)	75	74	1
	火災 (件)	5	7	▲2
	水難事故 (件)	8	5	3
	建物等による事故 (件)	5	5	0

▲は減少

平成23年中の市内における救助出動件数は116件で、前年に比べ2件の減少となりました。

事故種別でみると、水難事故が8件と、3件の増加となりましたが、その他は減少または昨年並みでした。最も多いのが交通事故の75件で、全体の65%を占めました。

水難事故の救助件数が増加したのは、夏期の行楽シーズンに水難事故が増加したことが大きな要因でした。また、救助人員は74人でした。



問い合わせ 火災について…予防課 ☎254-0354、救急・救助について…消防課 ☎254-1603
いずれも ☎256-7755